

各位

上場会社名 株式会社 ポプラ
代表者 代表取締役社長 目黒 真司
(コード番号 7601)
問合せ先責任者 執行役員 管理本部長 中間 昭登
(TEL 044-280-2813)

平成26年2月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年9月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	54,851	△197	△194	△679	△68.59
今回修正予想(B)	55,545	△766	△748	△2,461	△248.47
増減額(B-A)	693	△568	△553	△1,781	
増減率(%)	1.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年2月期)	56,421	211	249	5	0.59

平成26年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,645	△199	△678	△68.50
今回修正予想(B)	54,368	△788	△2,466	△249.01
増減額(B-A)	723	△589	△1,788	
増減率(%)	1.3	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年2月期)	55,182	248	8	0.90

修正の理由

第3四半期に入り中食マックス追求を中核とした営業改革により、中高日販の既存店においては前年を超える店が大半を占めるようになるなど業革により営業力が向上しています。しかしながら、店舗格差が鮮明になっており、低日販店の競争力低下がさらに加速、赤字が拡大しています。その結果、営業改革による成果を不採算店の赤字が上回る事業構造に陥っています。

来期以降の利益ある成長軌道に戻すため、今期末に不採算店舗の整理、神奈川工場の売却、子会社ドラッグ事業を本体事業へ取込むなど構造改革を促進します。これによる減損、閉店損失が増大することから業績見通しを下方修正いたします。

なお、神奈川工場の売却につきましては、「固定資産の譲渡および特別損失の計上に関するお知らせ」を本日公開いたしましたので、そちらをご参照ください。

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報より作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

以上